

## 市内ベンチの設置増加とベンチプロジェクトの開始の請願

### (請願要旨)

町田市内に設置されているベンチを増加し、そのための手段としてベンチプロジェクトを開設してください

### (請願理由)

町田市に限らず我が国全体でも高齢者人口が増加し、また、身体機能の低下をきたしておられる高齢者の方々が増加しています。身体機能の低下を自覚した方々は機能低下の増加を防止するために日々の訓練が必要です。まず、基本は歩くことです。そのため、日々の散歩は極めて重要です。しかし、歩くとすぐ疲れて休みたくなり、休む場所がないので運動をやめることができます。

ところが、町田市には一休みするところ、ベンチが非常に少ないです。バス乗り場、タクシー乗り場にもベンチのないところが非常に多いです。多くの高齢の方々は花壇のへり、ブロック塀のはし、民家の階段にこしをかけておられます。また、人気のないところに立ち止まり、じっとしておられます。むしろ最近ではコンビニ、スーパーでは汚されるのは困る、ということでベンチが次々と撤去されて行っています。何とかベンチを増やしていただきたいというのが請願です。

ベンチが少ないので、しかし、町田だけではなく、日本全体がそうなのです。

ベンチを増やしてもらいたいというのかならずしも老人のエゴだけではありません。ベンチは人の交流を促し、高齢者の社会参加をうながし、地域を活性化するための重要な道具です。このことは外国では早くから認識されています。2011年にはニューヨーク市でベンチプロジェクトなるものがはじまり、当時の副市長は次のように述べたことが紹介されています。

「CityBenchは、すべての世代のニューヨーカーが街をより楽しく歩きやすくさせ、街並みを向上させるものです。ベンチの設置場所は、バス停や商業地域の中はもちろん、市民からの要望を常に受け付けながら選定していきます。これらのベンチは、ただ休むことだけではなく、高齢者や地域住民が座り、家族のことや地域社会のことについて、隣人たちと楽しくお話しすることを可能にします。」

その数は1500。さらに2019年までに600個が追加されると書かれています。

今日、私が請願したいのは、まさにこのプロジェクトの開設です。実際、日本の各地でもベンチの少なさが認識され始め、増加の取り組みが始まっています。近くは、東京都区内でも、10区が何らかの形でベンチ増加の取り組みを始めています。有名なのは豊島ベンチプロジェクトです。

豊島ベンチプロジェクトは、令和5年の豊島区民事業提案制度により採択された事業の一つです。その他、三鷹市、福岡市、伊豆の国市などなどで、取り組み方はそれぞれちがっていても、市内のベンチの増加をめざす取り組みが始まっています。また、適切な設置場所の決定方法、活用の効率化についての学術研究もはじまっています。

町田市でも、他都市に遅れることなく、高齢者の社会参加を促し、町田市をより住みやすくするため、市民のための街中ベンチを増加させるための「ベンチプロジェクト」を、他の地域の経験を活かした形で、開始していただけるようお願いいたします。

#### 請願項目

- (1) 市内ベンチの設置増加
- (2) ベンチプロジェクトの開設